



Press Release

公益財団法人 J R 西日本あんしん社会財団
〒530-8341 大阪市北区芝田二丁目 4-24
TEL 06-6375-3202 FAX 06-6375-3229

2020年度
小・中学生
「いのち」の
作文コンクール
開催のお知らせ

「いのち」をテーマにした作文を募集します！！

「公益財団法人 J R 西日本あんしん社会財団」は、2009年4月1日に設立して以降、「安全で安心できる社会づくり」の一端を担いたいという思いから「いのち」に関わる事業を展開してまいりました。

このたび、「いのち」を大切に作る社会づくりに少しでもつながればとの思いを込め、「いのち」をテーマにした「小・中学生『いのち』の作文コンクール」を開催します。

将来を担う子どもたちに、「いのち」についての作文をつくることを通じて、「いのち」の大切さを考えていただく機会を提供できればと考えています。

多数の応募をお待ちしています。

◎テ — マ：あなたにとっての「いのち」

「いのち」の誕生の喜びや失った悲しみ、「生きる」ことの楽しさや辛さなど、さまざまな観点からの作品を募集します。

◎テ — マ 例：～身近な体験を通して感じた「いのち」～

- ・弟や妹が生まれた体験、自分や家族が病気になって入院した体験
- ・ペットを育てたり、草花を栽培した体験 など

～本やインターネット、テレビなどを通して感じた「いのち」～

- ・いのちを守るために懸命に働いている人の姿
- ・病気や大きな災害など困難と闘いながら頑張っている人の姿 など

～さまざまな形の「いのち」～

- ・海や山の景色、太陽や夜空の星など、自然の中で感じた「いのち」
- ・人工知能やロボットなど、最新の科学技術の中で感じた「いのち」 など

◎募 集 対 象：近畿2府4県（滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県）に在住・在学の小・中学生

◎募 集 期 間：2020年7月1日（水）～9月11日（金）当日消印有効

◎募 集 内 容：原稿用紙（400字詰め）

- ・小学生1～4年生：1～2枚
- ・小学生5～6年生：1～3枚
- ・中学生 2～4枚

◎表彰：

(1) 個人賞：入賞者に表彰状および副賞（図書カード）を贈呈します。

	金賞 (5万円分)	銀賞 (2万円分)	銅賞 (1万円分)	優良賞 (3千円分)	計
小学生1～2年生	1人	10人	16人	70人程度	100人程度
小学生3～4年生	1人				
小学生5～6年生	1人				
中学生	1人				

(2) 参加賞：応募者全員に贈呈します。

(3) 作品集：入賞者および学校単位で応募した学校に贈呈します。

◎選考委員：委員長 重松清氏（作家）

副委員長 菊池省三氏（教育実践研究家）

委員 柏木哲夫氏（大阪大学名誉教授、淀川キリスト教病院名誉ホスピス長）

坂下裕子氏（こども遺族の会「小さないのち」代表）

丸川征四郎氏（医誠会病院名誉病院長、近畿大学医学部客員教授）

※柏木氏、坂下氏、丸川氏の3名は当財団理事

◎広報物デザイン：永田萌氏（株式会社妖精村、京都市こどもみらい館 館長、姫路市立美術館 館長）

◎主催：公益財団法人JR西日本あんしん社会財団

◎協力：西日本旅客鉄道株式会社

◎後援：滋賀県教育委員会、京都府教育委員会、京都市教育委員会、大阪府教育委員会、
大阪市教育局、堺市教育委員会、兵庫県教育委員会、神戸市教育委員会、
奈良県教育委員会、和歌山県教育委員会、読売新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、
産経新聞社、神戸新聞社、京都新聞、大阪日日新聞、
京都大学こころの未来研究センター、大阪大学社会ソリューションイニシアティブ、
公益社団法人2025年日本国際博覧会協会

◎その他：詳しくはJR西日本あんしん社会財団のホームページをご覧ください。

<https://www.jrw-relief-f.or.jp/seminar/sakubun2020/>



【参考】

昨年度は「設立10年事業」として、「小・中学生『いのち』の作文・俳句コンクール」を実施しました。応募実績は以下のとおりです。

(作品数・句数)

	小学生	中学生	合計
作文	1,447	3,167	4,614
俳句	12,322	10,353	22,675